内陸工業地帯の建設は…？　当市の宇土駅周辺は内陸工業地帯として最適の地であると思います。この建設について、県の考えをお聞かせ願いたい。

中規模企業の誘致を……

〔答〕　熊本市から宇土市までは、新国道三号線ができてから僅か十数分で達するくらいに非常に便利になつています。

この国道三号線沿いの宇土駅周辺には工場適地として絶好の土地（現在農地）が多く、三角港に通ずる一級国道五七号線の分岐点にもあたつていて輸送の便に恵まれているばかりでなく、緑川、加勢川にも割に近くて工業用水の取水にも便利であるなど、種々立地条件に恵まれております。

このため、県では昭和三十四年度および三十六年度の二回にわたり、通産省の委託を受けて宇土市、熊本市、富合村、三角町等を含む熊本地区の工場適地調査を実施し、この宇土駅周辺の用地百七十三万三千平方メートルを工場適地に挙げておりますが、熊本から川尻までの国道三号線沿いの適地とあわせ、本県における内陸工業の中心地として、一体的開発を図る必要があろうと考えております。

具体的な開発の方向としては、重点を内陸型の中規模企業に置くのが適当と思われ、当面、食料品工業、木材利用工業、建材等の窯業土石製品製造業、機械工業等の誘致が有望ではないかと考えられます。

さらに、今後の県北部の有明臨海工業地帯の開発、南部の八代臨海工業地帯の発展に伴い、両地区の下請けや補完的工業として各種機械金属ならびに部品、補助材料、資材などの生産工業の誘致に努めるべきであると考えております。

〈大和宇土市長〉

このため、県では、去る通常国会において低開発地域工業開発促進法が成立するや、いち早く地区指定の申請を行いましたが、去る九月十五日、有明地区とともに正式指定告示を見ております。これによつて企業に対する各種の手厚い優遇措置が講ぜられることになりますので、次第に工業開発の実が挙がるものと考えています。

また産業基盤の整備については、①鹿児島本線久留米―熊本―八代間の一貫複線化と電化の早期完成、②三角港―宇土市―熊本市を結ぶ一級国道五七号線の改良舗装の早期完成、③工業用水の確保、さらには④昭和三十六年度から調査中の九州縦貫高速自動車道の早期着工が必要と考えられ、それぞれ努力しているところです。

なお、適地として挙げております土地の工業用地としての確保については、都市計画による用途地域の指定、行政指導などによつて、できるだけ計画の実効を期することが必要と考えられます。

（企画室）

住吉地区の観光開発をどうする？　宇土市住吉地区は、三角大矢野海辺県立公園の一部として、国際観光ルートに沿つて、美しい海岸線と、住吉神社一帯の岬、灯台、海水浴場など、観光資源に富んでいます。市としてもこの開発には大いに力を注いでいるところですが、この地区に対する県の観光開発の考えをお聞かせ願いたい。

日帰り休養地としての計画も……

〔答〕　県立公園として考えねばならないことは、地方住民の方々は勿論ですが、それだけではなく、広く県民の皆様の健全な利用ができるようにすることが必要です。

このためには、現在の住吉山一体だけでは少し狭く、大衆の収容には一寸無理があるように考えられますので、県立公園計画によるものだけでなく、昔から貴市内で行なわれる海水浴、汐干狩等の滞在的な観光資源との関連を持たせて計画しなければならないと考えます。

特に、最近の観光交通機関が高速度化し、御地を通過する国際観光ルートに特にこの傾向が強いと思われます。この種の観光客に対しては熊本、三角の中継点としての「レストハウス」的な足だまり便益施設をルート上に設け、これに連絡した路傍休憩所のようなものを計画する必要があると考えますが、むしろ、これら通過観光客を主な対象とするより、熊本市、八代市あたりを背後地とした一帯の人々の、日帰り休養地として計画するのが良策かとも考えます。

このためには、先にも申しましたように此処だけでなく、汐干狩などと直接連絡した保養地域として、更に轟水源、立岡提、宇土城址、粟島神社等の他の観光資源と結ぶ市内観光ルートを設定して、利用範囲を拡げることも必要ではないでしょうか。

幸い本県の観光事業に対する権威者の先生方の観光診断も本年で一応終り、これを機会に、本県の観光事業計画の再検討を行つているところでありますので、なるべく早い機会に地元とご協議申し上げたく考えて居りますから、ご計画なりお考えなりについて十分ご希望をお伺いして、効果のある事業を行いたいと考えています。

（観光課）

天草の果樹振興対策は……？　天草郡では、果樹の振興に特に力を注いできましたが、これに対する県の指導方針と具体策をお聞かせ願いたい。

生産量を五倍に……八年後

〔答〕　天草の果樹栽培は、近年特にその意欲が高まり全地域に増植が行なわれ、三十六年度の栽培総面積は一、二四六㌶で、そのうち、かんきつ類が一、一一三㌶、びわ八〇㌶、その他の果樹が五三㌶です。

又、生産量は、六一四八トンで、そのうちかんきつ類が五、四二二トンで八八％をしめております。

今後の増植計画は、昭和四十五年までに栽培面積二、六五一㌶、生産量一九、四七〇トン（現在のざつと五倍）を目標とし、振興を進めております。

増植の種類としては、もつとも天草地域に適している「かんきつ類」を主に奨励し、気温十五℃～十六℃の地帯河浦町（一町田、新合）五和町（手野、城河原）本渡市（本町、宮地岳）等を中心とした中山間地域では、温州みかんのベルト地帯を造成します。

天草の特産である「ぽんかん」と、「甘夏柑」は、海岸線の気温十七℃～一七・五℃地帯で風水害の少ない地域に奨励しております。特にぽんかんは、牛深市浅海及び本渡市下浦町の適地に限定し、奨励しております。

このような果樹振興計画を推進するために、昭和三十六年度から、県では果樹大集団産地造成事業に基づいて、天草地域を「苓南」「苓北」「天草上島」の三つの地域に区分指定し、一地域二〇〇㌶以上一万トンの生産量を目標とした樹園地の集団化と、施設の整備、県モデル果樹園を中心とした技術指導を行なつています。

〈宮崎天草郡町村会々長〉
（五和町長）

又、増植については、開畑の場合は、非補助三分五厘の「農林漁業資金」により、植栽費については果振法によつ経営計画認定に基づく「農林漁業資金」や「農業近代化資金」の融資等によつてすゝめております。

販売面では、関係機関の指導によつてようやく大市場向けの共同出荷が行なわれてきましたが、今後は生産指導による品質の統一、生産量の増大、選果施設の整備をはかり、なお、加工対策については、地元加工工場とタイアップした加工原料の供給を進め、共販をいつそう有利に進めるための流通体制を確立していく考えです。

（果樹特産課）

天草郡に対する高校進学対策は？　天草郡の高校進学率は、いま三五％程度で、県下最低です。一方、就職率は四四％程度で最高ですが、これは島内に高校が少いことが原因です。このたびの工業高校新設は、まことに喜ばしいことですが、今後の天草郡に対する高校進学対策について、県のお考えをお聞かせ願いたい。

工業高校の新設など……

〔答〕　天草郡市あげての願望でいよいよ実現することになり、私共も天草の皆様と共に、心から喜こんでいます。

このほかに、牛深高校の普通科一学級、熊本商業高校松島分室の昇格分をいれますと、約二百五十名（五学級）に相当する定員増が、郡内に実現するわけです。

天草郡の進学率は県下で最下位にある点はご指摘のとおりでありますし、その一つの原因が、学校が少なかつたこともその大きな原因であると思いますが、進学率を左右する要因としては、そのほかに、郡民の所得の水準、教育に対する関心の強さ、あるいは中学校卒業生に対する産業社会の需要の状況、高校卒業生への求人状況など色々ありまして、これが総合的に働いて、進学率を左右していくものと思われます。

従つて、進学率を高めるためにも、総合的に対策を考えなければならないのではないかと思われます。

又、進学率を高めるためには、中学校の卒業生が、その能力、適性、進路に応じて、むきむきの学校を志願できる学校配置が必要になります。

従つて、委員会としては、各地域毎に大体、各種の高等学校を設け、地域で総合性が保たれるよう配慮がなされております。特に天草地区では、普通科、工業、商業、水産と各種の高等学校が設けられたことになりますので、この点でも進学率を高めるために大きな役割りが今後果せるものと思われます。

国の計画としては、昭和四十五年度で七二％まで中卒の高校進学率を高める計画になつております。

同時に生まれた玉名、球磨の工業高高にまけないような、学校に育て上げて頂きますよう、地域の皆様方のご協力をこの上ともお願いします。

なお、天草工高仮事務所は十月八日本渡市の自治会館内（電2211次）に設置しました。

（熊本県高校急増対策審議会事務局）